

1. 略歴

- 1982年3月 東京大学文学部考古学専修課程 卒業
1982年4月 財団法人東京都埋蔵文化財センター調査員
1988年4月 法政大学大学院人文科学研究科日本史学専攻修士課程入学
1991年3月 法政大学大学院人文科学研究科日本史学専攻修士課程修了
1991年4月 法政大学大学院人文科学研究科日本史学専攻博士後期課程入学
1994年3月 法政大学大学院人文科学研究科日本史学専攻博士後期課程修了、博士(文学)取得
1994年4月 財団法人東京都埋蔵文化財センター副主任調査研究員
1997年4月 東京大学大学院人文社会系研究科助教授
1997年5月 東京大学文学部付属北海文化研究常呂実習施設助教授
1999年4月 東京大学大学院新領域創成科学研究科助教授
2003年4月 東京大学大学院人文社会系研究科助教授
(新領域創成科学研究科助教授併任、2004年3月まで)
2007年4月 東京大学大学院人文社会系研究科教授

2. 主な研究活動

a 専門分野

先史考古学、民族考古学、人類環境史

b 研究課題

- (1)日本列島および東アジアの旧石器時代における石器技術論、行動論、遺跡形成論、石材論的研究。
(2)生業・居住形態等に関する民族考古学的研究。
(3)民俗知の環境論的研究。

c 主要業績

(1) 著書

- 共著、佐藤宏之、『縄文の考古学 12巻』、同成社、2010.1
共著、佐藤宏之、『比較考古学の地平』、同成社、2010.2
共著、佐藤宏之、『長野県竹佐中原遺跡における旧石器時代の石器文化2』、長野県埋蔵文化財センター、2010.3
編著、稲田孝司・佐藤宏之編著、『講座 日本の考古学 第1巻 旧石器時代(上)』、青木書店、2010.4
編著、稲田孝司・佐藤宏之編著、『講座 日本の考古学 第1巻 旧石器時代(下)』、青木書店、2010.6
共著、Sato, H., Izuho, M., Morisaki, K., 『The Initial Human Habitation of the Continental and the Insular Parts of the Northern Asia』、Sakhalin State University、2010.9
共著、Sato, H., 『Papers in Honour of Viola T. Dobosi』、Hungarian National Museum、2011.3
編著、佐藤宏之、『環日本海北部地域における後期更新世の環境変動と人間の相互作用に関する総合的研究』、総合地球環境学研究所・東京大学大学院人文社会系研究科、2011.3
編著、佐藤宏之・飯沼賢司、『野と原の環境史』、文一総合出版、2011.3
編著、Izuho, M., Kaifu, Y., Sato, H., Ono, A. 『Program, Abstract, and Excursion Guide for Dual Symposia “The Emergence and Diversity of Modern Human Behavior of Palaeolithic Asia & The 4th Annual Meeting of the Asian Palaeolithic Association”』、National Museum of Nature and Science、2011.11
共著、佐藤宏之、『東北地方における環境・生業・技術に関する歴史動態論的総合研究』東北芸術工科大学東北文化研究センター、2012.3

(2) 論文

- 佐藤宏之、「旧石器時代の北東アジアと日本」、『考古学ジャーナル』、605号、6-9頁、2010.10
Sato, H., Izuho, M., Morisaki, K., 「Human cultures and environmental changes in the Pleistocene-Holocene transition in the Japanese Archipelago」、『Quaternary International』、237、pp. 93-102、2011.4
佐藤宏之、「オーストラリア大陸への人類の移住」、『旧石器考古学』、75、101-108頁、2011.9
佐藤宏之、「荒川台型細石刃石器群の形成と展開」、『考古学研究』、58巻3号、51-68頁、2011.11

Sato, H. 「Late Pleistocene trap-pit hunting in the Japanese Archipelago」『Quaternary International』、248、pp. 43-55、2012.1

Iwase, A., Hashizume, J., Izuho, M., Takahashi, K., Sato, H. 「The timing of megafauna extinction in the late Late Pleistocene on the Japanese Archipelago」『Quaternary International』、255、pp. 114-124、2012.3

(3) 学会発表

国際、佐藤宏之・早田勉・出穂雅実、「Human adaptation to the environmental change caused by the gigantic AT eruption (28-30 ka) of the Ito Caldera in South Kyushu, Japan」、International Field Conference and Workshop on Tephrochronology, Volcanism and Human Activity、鹿児島県霧島市国分庁舎多目的ホール、2010.5.14

国内、佐藤宏之・大貫静夫・福田正宏・I.Shevkomud 他、「コンドン文化の理解に向けて-クニャーゼ・ヴォルコンスコエ 1 遺跡の調査から-」、第 76 回日本考古学協会総会、国士舘大学、2010.5.23

国内、高橋啓一・出穂雅実・佐藤宏之、「北海道忠類ナウマンゾウ産出地点の再調査報告」、化石研究会、日本歯科大学新潟生命歯学部、2010.5.29

国内、佐藤宏之、「日本列島における後期旧石器時代の陥し穴猟-OIS3 後半の自然環境と生業・居住を考える-」、シンポジウム「日本列島における酸素同位体ステージ 3 の古環境と現代人的行動の起源」、浅間縄文ミュージアム、2010.6.6

国内、國木田大・吉田邦夫・辻誠一郎・I.Shevkomud・大貫静夫・佐藤宏之・熊木俊朗・福田正宏・内田和典・森先一貴・Konopatskii、「ロシア・アムール流域における過去一万年の文化編年」、第 27 回日本文化財科学大会、2010.6.27

国際、岩瀬彬・橋詰潤・出穂雅実・高橋啓一・佐藤宏之、「AMS 14C chronologies of terrestrial mammalian megafauna in the late Late Pleistocene on the Japanese Archipelago」、The World Mammoths: 5th International Conference on Mammoths and Their Relatives from the Pleiocene to Present-day: Biotopes, Evolution and Human Impact、Puy-en-Verlay、フランス、2010.9.1

国際、森先一貴・出穂雅実・佐藤宏之、「Upper Palaeolithic technological organization response to landscape changes in northern Japan」、International Symposium "The Initial Human Habitation of the Continental and the Insular Parts of the Northeast Asia"、サハリン総合大学、2010.9.21

国際、出穂雅実・岩瀬彬・橋詰潤・佐藤宏之、「Late Pleistocene megafauna extinction on the Japanese Island」、第 3 回アジア旧石器協会年次大会、韓国国立公州大学校、2010.10.11

国内、佐藤宏之、「東北日本の後期旧石器時代前半期の編年研究」第 24 回東北日本の旧石器文化を語る会、2010.12.18

国内、役重みゆき・佐藤宏之・熊木俊朗・尾田識好・林和広・夏木大吾・高屋敷飛鳥・高鹿哲大・山田哲、「北海道北見市吉井沢遺跡」第 24 回東北日本の旧石器文化を語る会、秋田市、2010.12.19

国内、佐藤宏之・出穂雅実・森先一貴・山田哲・和田恵治・向井正幸・A.ポポフ・V.ポポフ・B.ラジン、「ロシア沿地方の旧石器時代石器群と"玄武岩ガラス": グヴォズデヴォ 5 遺跡発掘調査および沿海地方南部玄武岩質台地の知悉巡検報告」、第 12 回北アジア調査研究報告会、金沢学院大学、2011.3.6

国内、福田正宏・I.Shevkomud・熊木俊朗・國木田大・森先一貴・大貫静夫・佐藤宏之・吉田邦夫・内田和典・S.Kositsyna・M.Gorshkov・E.Bochkaryova、「アムール河口域の考古学的調査(2010 年度)」、第 12 回北アジア調査研究報告会、金沢学院大学、2011.3.6

国際、佐藤宏之、「Recent advances of Paleolithic archaeology in Japan」、特別講演会、ロシア国立マカダン大学、2011.3.11

国際、海部陽介・佐藤宏之、「Archaic hominins in East and Southeast Asia: comments on the hypothetical wide distribution of "Denisovans"」、International Symposium "Characteristic features of the Middle to Upper Paleolithic transition in Eurasia"、ロシア連邦アルタイ共和国、2011.7.8

国内、佐藤宏之、「旧石器考古学からみた日本列島の文化形成」、日本人類学会遺伝分科会、東京大学理学部、2011.7.16

国際、佐藤宏之、「Original characteristics of modern human behavior on Japanese early Early Upper Paleolithic: edge-ground axe, circular settlement and trap pit hunting」、The 16th International Symposium: SUYANGGAE and her Neighbours in Nihewan, Yangyuan county, Hebei Province, China、2011.8.16

国内、佐藤宏之、「環日本海北部地域における後期旧石器時代の環境変動と先史狩猟採集民の生業適応」、第 26 回北方民族文化国際シンポジウム、網走市オホーツク文化交流センター、2011.10.2

国際、和田恵治・佐野恭平・向井正幸・佐藤宏之・出穂雅美、「Chemical composition and microstructure of obsidian from Hokkaido source area: with special reference to geological and petrological data for Shirataki obsidian lava complex, Hokkaido, Japan」、International works on the Japanese Obsidian: Nagano Workshop in 2011、明治大学黒曜石研究センター、2011.11.5

国際、佐藤宏之、「Trap pit hunting in Late Pleistocene Japan」、Dual Symposia: Symposium on the Emergence and Diversity of Modern Human Behavior in Paleolithic Asia and the 4th Annual Meeting of the Asian Paleolithic Association、国立科学博物館、2011.11.30

国内、大貫静夫・I.シエフカムート・福田正宏・佐藤宏之・熊木俊朗・國木田大・尾田識好・大澤正吾・夏木大吾・内田和典・M.ゴルシュコフ・S.コシツィナ・E.ボチカレバ・森先一貴、「東部極東平底土器の形成過程について -コンドン1遺跡の調査から-」、第13回北アジア調査研究報告会、東京大学、2012.2.12

(4) 会議主催 (チェア他)

国際、「International works on the Japanese Obsidian: Nagano Workshop in 2011」、実行委員、明治大学黒曜石研究センター、2011.11.4~6

国際、「Dual Symposia: Symposium on the Emergence and Diversity of Modern Human Behavior in Paleolithic Asia and the 4th Annual Meeting of the Asian Paleolithic Association」、実行委員、国立科学博物館、2011.11.26~12.1

国内、「第13回北アジア調査研究報告会」、実行委員、東京大学、2012.2.11~2012.2.12

(5) 共同研究 (産学連携除く)

国際、共同、東京大学、「東北アジアにおける定着的食料採集社会の形成および変容過程の研究」、2010~2011

国際、共同、国立民族学博物館、「ロシア極東森林地帯における文化の環境適応」、2010~

国内、共同、東北芸術工科大学東北文化研究センター、「東北地方における環境・生業・技術に関する歴史動態論的総合研究」、2010~2012

国内、共同、滋賀県立琵琶湖博物館、「日本列島におけるヒト出現期の人間-環境系復元」、2010~2012

国際、共同、東京大学、「環日本海北回廊の考古学的研究」、2011~

(6) 研究テーマ

文部科学省科学研究費補助金、基盤研究 (A)、佐藤宏之、研究代表者、「黒曜石の流通と消費からみた更新世人類社会の形成と変容」、2010~

3. 主な社会活動

(1) 他機関での講義等

非常勤講師、立正大学、「考古学概説 1,2」、2010.4~2011.3

非常勤講師、早稲田大学、「野外考古学概論」、2010.9~2011.3

(2) 学会

国内、日本第四紀学会、評議員、幹事、2010.4~2012.3

国内、日本考古学協会、理事、2010.4~2012.3

国内、法政大学史学会、評議員、2010.4~2012.3

国内、日本旧石器学会、渉外委員長、2010.4~2012.3

国際、Asia Paleolithic Association、Executive Committee Member、2010.10~2012.3

(3) 行政

常呂遺跡史跡整備専門委員会、立案、委員、2010.4~2012.3

東京都文化財保護審議会、教育政策、委員、2010.4~2012.3

文化庁「旧石器時代の遺跡等の保存に関する検討会」、立案、委員、2012.2~

神奈川県文化財保護審議会、立案、委員、2012.4~

考古調査士認定機構、考古調査士資格審査委員会、委員、2010.4~